

豊後大野市スポーツ推進計画

【平成30年～39年度（令和9年度）】

～スポーツで 笑顔あふれる ぶんごおおの～

平成30年3月
令和6年3月改定
豊後大野市教育委員会

はじめに

スポーツに対し「自ら行う」・「観戦する」・「支える」といった様々な形で関わりを持つことにより、「楽しみ」・「喜び」・「感動」を味わうことができます。

また、スポーツを生活の一部として取り入れることで、人生をより楽しく健康で生き生きしたものにできます。

このように、スポーツの特性を大切にしながら、全ての市民が何らかの形でスポーツに関われるようにしていくことが大切です。

さて、「豊後大野市スポーツ推進計画」は第1期の計画となります。内容としまして第1章では計画策定にあたっての趣旨を、第2章ではスポーツ団体やスポーツ施設の現状スポーツイベント実施状況について掲載しています。

第3章では、これからのスポーツの振興として「生涯スポーツの推進」・「スポーツ施設の整備」・「競技スポーツの振興」について、それぞれ現状と課題を整理し、施策を立てるとともに目標値を設定しています。第4章では推進体制について掲載しています。

この基本計画を基に、市民の皆様をはじめスポーツ団体や関係機関と連携を図り、スポーツに親しむ機会の提供や体制の整備に努め、スポーツ参画人口の拡大、健康長寿社会の実現等、計画の実現に向けて取り組んでまいります。

終わりに、本計画の策定にあたりアンケート調査にご協力いただいた市民の皆様、策定にご尽力を賜りましたスポーツ推進計画策定委員会委員の皆様をはじめ、関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

平成30年3月

豊後大野市教育委員会

教育長 下田 博

目 次

第1章 豊後大野市スポーツ推進計画策定にあたって	
1. 計画の趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の期間	1
第2章 豊後大野市のスポーツの現状	
1. 豊後大野市の人口について	3
2. スポーツ団体の状況について	4
3. スポーツ施設の状況について	7
4. スポーツイベントの状況について	12
5. アンケート調査概要について	14
第3章 これからのスポーツの振興	
1. スポーツ振興計画（体系図）	17
2. 生涯スポーツの推進	18
3. スポーツ施設の整備	27
4. 競技スポーツの振興	29
第4章 計画の実現に向けて	
1. 計画の推進	34

第1章 スポーツ推進計画策定にあたって

1. 計画の趣旨

平成23年6月、国のスポーツに関する基本理念等を規定した「スポーツ振興法」が50年ぶりに全面改正され、スポーツの現代的課題を踏まえ、国・地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を規定した「スポーツ基本法」が制定されました。

また、平成24年3月に「スポーツ基本法」に基づく「第1期スポーツ基本計画」、平成29年3月には、「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。この基本計画を参酌して、その地方の実情に即した地方スポーツ推進計画を定めるよう努めることとされています。

本市では、平成27年1月に市民1,000人を対象に「スポーツに関するアンケート調査」（回収率36.7%）を実施し、その調査結果を踏まえ、スポーツに関係する有識者などから構成される豊後大野市スポーツ推進計画策定委員会を設置し、「豊後大野市スポーツ推進計画」を策定しました。

生活水準の向上や余暇時間の増加、さらには、2020年（平成32年）の「東京オリンピック・パラリンピック」や2019年（平成31年）の「ラグビー・ワールドカップ2019」と国内で国際的なスポーツイベントの開催が決定、大分市において試合が開催される中で、市民のスポーツに対する興味や関心が一層高まります。

市民誰もが各々のライフステージに応じて、スポーツを楽しみながら健康的な生活を送れることを目的とした、スポーツ推進基本計画です。

2. 計画の位置づけ

本計画は、平成23年6月制定のスポーツ基本法第10条に位置付けられている「地方スポーツ推進計画」です。国の「スポーツ基本計画」や「大分県スポーツ推進計画」及び「豊後大野市総合教育計画」との整合性を図り、スポーツ振興の方向性を示すものとして位置づけています。

3 計画の期間

平成30年度を初年度とし、平成39年度を目標年度とする10年間を計画期間としています。今後、社会情勢やスポーツを取り巻く環境の変化に対応するために、概ね5年後に見直しを行うこととします。



第2章 スポーツの現状

1. 豊後大野市の人口について

本市の平成29年3月31日現在の総人口は37,215人であり、うち、男性は17,220人、女性は19,995人となっています。総人口に対する高齢者の割合（高齢化率）は41.3%であり4割を越えています。なお、世帯数は、16,346戸となっています。今後も引き続いて少子高齢化等の要因により人口の減少が予想されます。

◆町別人口

町名	人口(人)	割合(%)
三重町	17,044	45.8
清川町	2,070	5.6
緒方町	5,154	13.8
朝地町	2,718	7.3
大野町	4,376	11.8
千歳町	2,170	5.8
犬飼町	3,683	9.9
合計	37,215	—

◆年少人口

年齢	人口(人)	割合(%)
0～14歳以下	3,799	10.2

◆高齢者人口

年齢	人口(人)	割合(%)
65歳以上	15,371	41.3

◆5歳階級別人口

年齢(歳)	人口(人)	割合(%)	年齢(歳)	人口(人)	割合(%)
0～5	1,325	3.6	56～60	2,494	6.7
6～10	1,343	3.6	61～65	3,034	8.2
11～15	1,404	3.8	66～70	3,623	9.7
16～20	1,526	4.1	71～75	2,437	6.5
21～25	1,273	3.4	76～80	2,680	7.2
26～30	1,255	3.4	81～85	2,717	7.3
31～35	1,548	4.2	86～90	2,080	5.6
36～40	1,822	4.9	91～95	863	2.3
41～45	1,918	5.2	96～100	238	0.6
46～50	1,723	4.6	101～105	29	0.1
51～55	1,880	5.1	106～107	3	0.0

資料：住民基本台帳 平成29年3月31日現在

2. スポーツ団体の状況について

本市には、地域で身近にスポーツの取り組みを進める組織として、総合型地域スポーツクラブが3団体（三重町、緒方町、朝地町）あり、市内の各町には、地区スポーツ振興会が設置されています。

また、27競技団体が存在し、スポーツの普及・競技力の向上が図られています。

① 総合型地域スポーツクラブについて

本市には、「みえスポーツクラブ」、「おがたいきいきスポーツクラブネスト」、「朝地フレンドクラブ」の総合型地域スポーツクラブがあります。

スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造を基本理念とし、地域の実情やニーズに沿った活動が行われています。

◆総合型地域スポーツクラブの状況

(H29. 3. 31 現在)

ク ラ ブ 名	設立年月日	会員数	対象人口	割合
みえスポーツクラブ	H15. 3. 28	382 人	17, 044 人	2. 24%
おがたいきいき スポーツクラブネスト	H16. 3. 28	232 人	5, 154 人	4. 50%
朝地フレンドクラブ	H25. 2. 23	229 人	2, 718 人	8. 43%
合 計	—	843 人	24, 916 人	3. 38%

◆スポーツ・レクリエーション実施種目（平成28年度）

ク ラ ブ 名	種 目 名			
みえスポーツクラブ	貯 金 運 動	3 B 体 操	フットサル	硬式テニス
	ソフトテニス	エアロダンス	—	—
	—	—	—	—
おがたいきいきスポー ツクラブネスト	ウォーキング	ヨ ガ	陸上競技	剣 道
	野 球	バレーボール	ソフトテニス	卓 球
	空 手	—	—	—
朝地フレンドクラブ	ウォーキング	ランニング	ヨ ガ	剣 道
	バドミントン	卓 球	登 山	ラジオ体操
	バレーボール	アーチェリー	—	—

② 地区スポーツ振興会について

スポーツ振興会が市内の各町に設置されています。

各種スポーツ大会の開催やチャレンジデーの取り組みなど振興会の活動がスポーツの振興に重要な役割を担っています。

③ 競技団体について

市体育協会に加盟している団体は、27競技あります。県民体育大会に出場するなど、競技力の向上をめざして活動をしています。

(H29.3.31現在)

水泳、陸上競技、テニス、バスケットボール、卓球、軟式野球、バドミントン、弓道、ラクビーフットボール、自転車、ソフトテニス、柔道、剣道、山岳、サッカー、ソフトボール、バレーボール、ボウリング、スキー、ゲートボール、ゴルフ、カヌー、なぎなた、グラウンドゴルフ、綱引、馬術、太極拳



▲県民体育大会ソフトボール競技

④ 市スポーツ少年団について

平成29年度の単位団数は、43団体（団員数803人）あります。全国大会に出場するなど競技力の向上を目指し活動しています。団活動が心身の健全育成に寄与しています。

◆市スポーツ少年団種目別団数・団員数の推移

(H29. 9. 30 現在)

種 目	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	団数 (団体)	団員数 (人)	団数 (団体)	団員数 (人)	団数 (団体)	団員数 (人)
野 球 (軟 式)	9	161	9	173	9	155
野 球 (硬 式)	1	25	1	29	1	29
サ ッ カ ー	3	77	3	85	3	77
バ レ ー ボ ー ル	7	110	7	98	7	89
ソ フ ト テ ニ ス	3	67	3	74	3	83
陸 上 競 技	2	62	2	47	2	49
卓 球	2	18	2	17	2	16
剣 道	7	61	7	58	7	49
柔 道	1	17	1	32	1	32
空 手	1	17	1	32	1	32
乗 馬	1	13	1	12	1	12
ト ラ ン ポ リ ン	1	40	1	40	1	28
バ ド ミ ン ト ン	1	38	1	31	1	22
ミ ニ バ ス ケ ッ ト	1	26	1	26	1	37
テ コ ン ド ー	1	12	1	9	1	8
バ ト ン ト ワ リ ン グ	—	—	—	—	1	7
※ ネ ス ト	1	108	1	113	1	85
合 計	42	852	42	876	43	803

※ネスト「おがたいいきいきスポーツクラブネスト」

◆おがたいいきいきスポーツクラブネスト種目別団員数の内訳 (単位：人)

種 目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
野球 (軟式)	14	18	13
バレーボール	42	45	24
ソフトテニス	7	9	5
陸上競技	20	22	23
剣道	12	5	9
空手	7	4	0
卓球	6	10	11
合 計	108	113	85

3. スポーツ施設の状況について

本市全てのスポーツ施設は、建設から20年以上経過しており、老朽化が著しい施設については改修等を行い施設の管理・運営を行っています。

◆社会体育施設一覧

(H29.3.31現在)

体育施設名称	建設年度	経過年数	運営形態
三重総合グラウンド三重野球場	昭和32年	60年	直営
三重総合グラウンド三重陸上競技場	昭和32年	60年	直営
サン・スポーツランドみえ多目的グラウンド	平成4年	25年	直営
サン・スポーツランドみえテニスコート	平成4年	25年	直営
三重体育館	昭和54年	38年	直営
三重柔道場	平成元年	28年	直営
大原総合体育館	平成8年	21年	指定管理
清川総合グラウンド多目的グラウンド	昭和58年	34年	直営
緒方総合運動公園多目的グラウンド	平成3年	26年	直営
緒方総合運動公園野球場	平成3年	26年	直営
緒方総合運動公園テニスコート	平成3年	26年	直営
緒方総合運動公園ゲートボール場	平成3年	26年	直営
緒方松山グラウンド多目的グラウンド	—	—	直営
緒方米山グラウンド多目的グラウンド	—	—	直営
緒方南部グラウンド多目的グラウンド	—	—	直営
朝地グラウンド多目的グラウンド	昭和60年	32年	直営
朝地体育館	昭和46年	46年	直営
大野総合運動公園多目的グラウンド	平成4年	25年	直営
大野総合運動公園野球場	平成4年	25年	直営
大野総合運動公園テニスコート	平成4年	25年	直営
大野総合運動公園ゲートボール場	平成4年	25年	直営
千歳総合運動公園多目的グラウンド	平成4年	25年	直営
千歳総合運動公園野球場	平成4年	25年	直営
千歳テニスコート	昭和54年	38年	直営
千歳ゲートボール場	平成7年	22年	直営
犬飼総合グラウンド	昭和55年	37年	直営
犬飼総合グラウンド犬飼ゲートボール場	昭和55年	37年	直営
犬飼体育館	昭和55年	37年	直営

※平成18年4月1日より大原総合体育館は、市スポーツ振興協会が指定管理

◆町別スポーツ施設数

(H29. 3. 31 現在)

(単位：箇所)

施設名称	三重町	清川町	緒方町	朝地町	大野町	千歳町	犬飼町	計
陸上競技場	1	—	—	—	—	—	—	1
多目的グラウンド	1	1	4	1	1	1	1	10
野球場	1	—	1	—	1	1	—	4
テニスコート	1	—	1	—	1	1	—	4
ゲートボール場	—	—	1	—	1	1	1	4
体育館	2	—	—	1	—	—	1	4
柔道場	1	—	—	—	—	—	—	1
温水プール	1	—	—	—	—	—	—	1
トレーニングルーム	1	—	—	—	—	—	—	1
計	9	1	7	2	4	4	3	30

※多目的グラウンドは、各町に設置。

※温水プール・トレーニングルームは、大原総合体育館内に設置。



▲三重総合グラウンド三重陸上競技場



▲千歳総合運動公園野球場



▲大原総合体育館温水プール



▲大原総合体育館トレーニングルーム

◆使用貸借契約施設

(H29. 3. 31 現在)

体育施設名	契約年度	契約先
犬飼テニスコート	平成26年度	犬飼町ソフトテニス部 (スポーツ少年団)
三重弓道場	平成27年度	市弓道クラブ
三重馬術場	平成27年度	市馬術協会
緒方米山体育館	平成27年度	上緒方振興協議会
緒方体育館(武道場)	平成28年度	緒方少年剣士会



◆スポーツ施設別利用者数

(単位：人)

体 育 施 設	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
三重総合グラウンド三重野球場	9,717	7,250	11,254	8,644
三重総合グラウンド三重陸上競技場	14,764	10,888	19,898	19,361
サン・スポーツランドみえ多目的グラウンド	9,175	8,095	11,075	10,965
サン・スポーツランドみえテニスコート	64,020	34,082	55,895	51,840
三 重 体 育 館	19,043	14,631	22,686	20,648
三 重 柔 道 場	5,170	6,198	5,207	7,012
大原総合体育館(メイン・サブアリーナ)	77,796	73,034	76,519	72,751
大原総合体育館(温水プール)	39,112	40,252	42,217	41,327
大原総合体育館(トレーニングルーム)	10,499	10,653	12,588	13,059
清川総合グラウンド多目的グラウンド	4,281	4,413	7,056	7,747
緒方総合運動公園多目的グラウンド	4,776	8,083	11,641	12,268
緒方総合運動公園野球場	5,567	3,281	5,999	5,962
緒方総合運動公園テニスコート	3,055	6,916	9,425	10,799
緒方松山グラウンド多目的グラウンド	5,057	8,518	7,286	6,032
緒方米山グラウンド多目的グラウンド	1,704	15	1,351	782
緒方南部グラウンド多目的グラウンド	121	132	0	0
朝地グラウンド多目的グラウンド	9,739	6,680	10,584	13,103
朝 地 体 育 館	6,303	1,499	6,191	6,255
大野総合運動公園多目的グラウンド	15,020	6,544	9,524	13,552
大野総合運動公園野球場	5,694	4,393	6,714	6,325
大野総合運動公園テニスコート	834	1,193	1,760	2,423
千歳総合運動公園多目的グラウンド	28,422	8,555	13,118	15,646
千歳総合運動公園野球場	24,730	10,681	6,583	6,879
千 歳 テ ニ ス コ ー ト	510	310	425	588
犬飼総合グラウンド	7,264	7,326	9,419	6,495
犬 飼 体 育 館	6,842	4,959	7,840	6,738
合 計	379,215	288,581	372,255	367,201

※平成25年度以降利用者増加施設

【大原総合体育館(トレーニングルーム)・清川総合グラウンド多目的グラウンド・緒方総合運動公園多目的グラウンド・緒方総合運動公園テニスコート・大野総合運動公園テニスコート】

※平成28年度年間利用者127,137人

【大原総合体育館(メイン・サブアリーナ)・温水プール・トレーニングルーム】

4. スポーツイベントの状況について

本市各町において年間を通じて様々なスポーツイベントが開催されています。

◆平成28年実施イベント（市・体育協会・各町スポーツ振興会主催）

月 日	イ ベ ン ト 名	開 催 場 所
1 月	豊後大野市少年少女駅伝競走大会	緒方総合運動公園周回コース
3 月	【三重町】三重町さくらロードレース大会 	三重町内
5 月	チャレンジデー2016 【三重町】太極拳、スポーツ玉入れ大会等 【清川町】ウォーキング・ミニバレーボール大会等 【緒方町】ウォーキング・スポーツ玉入れ大会等 【朝地町】ウォーキング・バブルサッカー等  【大野町】ウォーキング・ゲートボール大会等 【千歳町】ウォーキング・グラウンドゴルフ大会等 【犬飼町】ウォーキング・卓球大会等	市内一円
5 月 ～6 月	県民すこやかスポーツ祭 ウォーキング グラウンドゴルフ スポーツ玉入れ ソフトバレーボール	三重町・朝地町内 犬飼総合グラウンド他 大原総合体育館 大原総合体育館
6 月 ～7 月	豊後大野市民体育大会	市内一円
7 月	豊後大野市小中学生水泳記録会	大原総合体育館温水プール

8月	【清川町】清川お盆親善野球大会	清川総合グラウンド多目的グラウンド
	【朝地町】朝地町近郊卓球大会	朝地中学校体育館
10月	【大野町】スポーツレクレーション祭 (テニス大会等各種スポーツ大会)	大野総合運動公園多目的グラウンド他
11月	豊後大野市駅伝競走大会	市内一円
		
	【緒方町】おがた五千石マラソン大会	緒方町内
		
	【犬飼町】犬飼町地区対抗グラウンドゴルフ大会	犬飼総合グラウンド
12月	【三重町】三重町地区対抗駅伝競走大会	三重町内
	【千歳町】千歳ひょうたん健康マラソン大会	千歳町内
		

5. アンケート調査概要について

■調査の目的

市民のスポーツに対するニーズを把握し、今後の取り組むべき施策を検討し推進計画を策定する資料とする。

■調査実施期間

平成27年1月～3月

■実施方法

郵送による配布・回収

■調査対象

市内に住所を有する20歳以上を対象に1,000人抽出

■回収状況

配布数	回答数	回収率
1,000部	367部	36.7%

■アンケート調査内容

- 健康・体力の状態に関すること。
- スポーツの実施状況に関すること。
- 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ振興会に関すること。
- スポーツに関する情報・スポーツ施設に関すること。
- 健康状態や生活に関すること。
- 地域でのスポーツ活動に関すること。

■アンケート調査結果（回答者の状況）

◆町別状況

町名	割合
三重町	41.7%
清川町	8.7%
緒方町	13.4%
朝地町	8.5%
大野町	10.6%
千歳町	7.6%
犬飼町	9.5%

◆性別状況

性別	割合
男	47.4%
女	52.6%

◆年齢別状況

年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
割合	10.9%	17.7%	18.3%	17.7%	21.8%	13.6%

◆職業別状況

職業	割合	職業	割合
無職	14.2%	卸小売業	4.9%
専業主婦	10.9%	製造業	4.4%
農林漁業	10.6%	運輸通信業	2.7%
サービス業	10.6%	学生	0.3%
公務員	7.9%	無回答	1.0%
建設業	6.3%	その他の業種	26.2%

第3章 これからのスポーツの振興

1. スポーツ振興計画（体系図）

スポーツで 笑顔あふれる ふんごおおの

施策項目	施策目標	基本施策
生涯スポーツの推進	<p>誰もが各々の年代や関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実します。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>(1) 生涯スポーツを楽しめる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツイベントの開催 ②健康寿命向上の取り組み ③障がい者スポーツ活動の推進 ④スポーツを通じた女性の活躍促進 <p>(2) 学校等における体育・スポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校体育授業の充実 ②部活動の推進 ③食育の推進 ④学校施設の利活用 <p>(3) スポーツ団体の組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合型地域スポーツクラブの育成 ②地区スポーツ振興会の活性化 ③スポーツ推進委員の活用 ④スポーツリーダーの育成 <p>(4) スポーツ施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広報活動 ②スポーツツーリズムの推進
スポーツ施設の整備	<p>施設の状態や利用実態、市民のニーズを踏まえ、計画的に改修や施設整備を行います。</p>	<p>(1) スポーツ施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ施設の整備 ②スポーツ施設の充実 ③スポーツ事故の防止
競技スポーツの振興	<p>組織的かつ計画的に選手を育成する体制の整備に努めます。</p>	<p>(1) 関係機関や競技団体の活動支援と連携及び組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県民スポーツ大会への活動支援及び組織強化 <p>(2) スポーツ顕彰制度と補助制度の充実</p> <p>(3) スポーツ指導者の育成と確保</p> <p>(4) スポーツ少年団活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①育成支援 ②交流事業の実施 ③指導者の育成

2. 生涯スポーツの推進

<現状と課題>

- スポーツは、心身の健康と体力の維持・増進だけでなく、仲間とのコミュニケーションの促進や高齢者・障がい者の生きがいづくり、地域コミュニティの形成につながることを期待されています。
- アンケート調査結果によると、1年間に「週1日以上スポーツを実施した」と回答した割合は、46.9%、「スポーツを全くしなかった」は、24.3%となっています。性別では、1年間に「週1日以上スポーツを実施した」割合は「男性」が「女性」より14.7%高くなっており、女性のスポーツ実施率向上を目指した取り組みが必要です。また、スポーツを実施する際の阻害要因は、「仕事（家事・育児）が多忙のため」が26.2%、「機会（きっかけ）が無い」が18.3%と多数を占めており、続いて「運動より他の事に興味がある」、「場所や施設が無い（遠い）」、「疲れるから」となっており阻害要因は様々です。しかしながら「時間ができれば」が34.6%、「近くに施設があれば」18.5%と続き、「職場や自宅で簡単な運動があれば」、「参加したいスポーツ教室があれば」との回答も多く、スポーツを身近に取り入れる環境の整備をはじめ、スポーツへの関わり方を提案する必要があります。
- スポーツを通じた人づくりやまちづくりのためには、地区スポーツ振興会の活性化を図ることが重要です。また、地域の枠を超えて、多世代、多種目、多志向でスポーツを楽しむことが出来る総合型地域スポーツクラブの育成と自立を図る必要があります。市民の多様化するスポーツニーズに対応するため、誰もが日常的にスポーツを楽しめるための環境整備を行う必要があります。スポーツに関する情報を広く提供し、実践と参加へつなげることが必要です。
- 本市のお達者年齢は、平成24年（平成22年～26年平均）県内市町村の中で、男性が最下位、女性が15位でしたが、平成25年（平成23年～27年平均）は男性7位、女性11位であり、ともに中位にランクしています。大分県は、「健康寿命日本一」を目指し「料理の減塩を図る・野菜を多く摂取する・ウォーキングを行う」の3つを鍵として取り組みを進めています。お達者年齢・健康寿命ともに「健康で過ごせる期間」を示したものです。また、本市では市民の塩分摂取量が県平均より著しく多くなっていることから減塩啓発に取り組んでいます。塩分の過度な摂取は、高血圧症などの生活習慣病を引き起こす原因となっています。食生活改善と運動により健康寿命を延ばす取り組みを進めていく必要があります。

- 少年期は、将来にわたってスポーツに親しむ習慣を形成する重要な時期ですが、本市では少子化が進む中で部活動の存続が危惧されています。地域において子供のスポーツ機会を確保することが重要となっています。
- 小学校5年生と中学校2年生を対象に実施した平成28年度全国体力・運動能力調査結果によると、本市小学校5年生男女の体力合計点は全国平均値を上回っているものの大分県平均を下回っています。また、本市中学校2年生の体力合計点は男女ともに全国・大分県平均値を上回っています。小学校・中学校男女の運動能力は全国的にみて高いレベルであるといえます。

◆お達者年齢〈大分県福祉保健企画課算出データ〉

年 性別	平成22年 平成20~24年平均	平成23年 平成21~25年平均	平成24年 平成22~26年平均	平成25年 平成23~27年平均
男性 (順位)	78.25歳 (第6位)	77.92歳 (第8位)	78.23歳 (第18位)	78.64歳 (第7位)
女性 (順位)	82.80歳 (第14位)	82.70歳 (第15位)	82.91歳 (第15位)	83.56歳 (第11位)

※お達者年齢（大分県データ）と健康寿命（厚生労働省データ）について

○指標と定義は、お達者年齢・健康寿命ともに共通です。

指標：日常生活動作が自立している期間の平均

定義：介護保険制度による要介護2以上に認定されない方を健康とみなす

○算出方法は、お達者年齢・健康寿命に相違があります。

【お達者年齢】

人口規模が少なく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として大分県が独自に毎年公表しています。

「平成10年～平成14年平均」を用い、以降5年平均により毎年公表しています。

【健康寿命】

厚生労働省が平成22年・平成25年データにより算出しています。

全国値と都道府県値を3年毎に公表しています。

◆生活習慣病（疾病別有病率）の状況

疾 病 名	県内順位	疾 病 名	県内順位
高 血 圧	第3位	人 工 透 析	第4位
脂 質 異 常 症	第3位	虚血性心疾患	第5位
糖 尿 病	第4位	脳 血 管 疾 患	第9位

（国民健康保険：平成28年5月診療分）

◆平成27・28年度全国体力・運動能力調査結果 （単位：点）

区 分		男 子		女 子	
学年	年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度
		小学5年生	全 国	56.10	53.92
	大 分 県	55.52	56.17	56.56	57.82
	豊後大野市	53.49	54.07	54.08	57.25
中学2年生	全 国	43.39	42.13	50.83	49.56
	大 分 県	43.29	43.96	49.05	50.34
	豊後大野市	40.55	44.59	44.32	51.08

※調査対象8種目（80点満点）の合計点で比較

（調査対象8種目）

握力（筋力）、上体起こし（筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、反復横とび（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（瞬発力）、立ち幅とび（瞬発力）、ソフトボール投げ（筋力）



施策目標

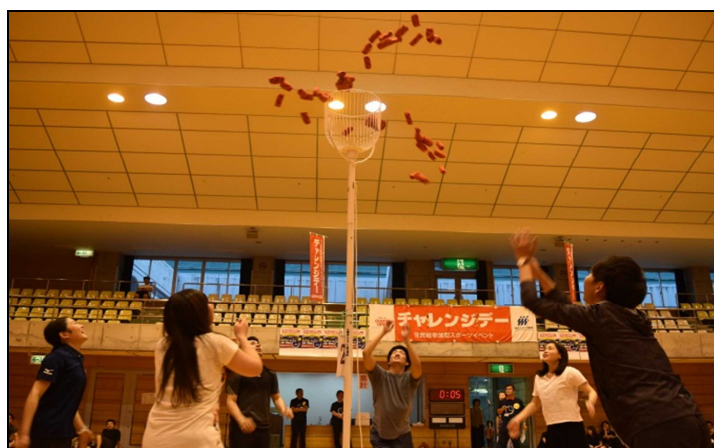
市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もが各々の年代や関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実します。

基本施策

(1) 生涯スポーツを楽しめる環境づくり

①スポーツイベントの開催

- 市民の健康増進を図るため、各年代においてスポーツに親しむ機会を提供し、身近に参加できる活動の場を提供します。
スポーツ実施率の向上、スポーツ参画人口の増加を図ります。
- 総合型地域スポーツクラブや各町スポーツ振興会と連携し、健康や体力づくりを目的としたスポーツイベントを開催します。
- アンケート調査結果によると、ウォーキングは各種スポーツの中でも行った回数が最も多くなっています。このウォーキング実施者を取り込み、各地域においてウォーキングコースを設定し、イベントの開催に取り組みます。
- スポーツ未実施者（スポーツ阻害要因の多数を占める仕事・家事・育児が多忙な方、機会が無い方）への働きかけを行い、誰もが気軽に楽しめる軽スポーツの普及等を関係機関とともに図ります。
- マラソン大会が年間3町において実施されています。大会内容の充実を図り参加者を増やす取り組みを行います。



▲スポーツ玉入れ大会（チャレンジデー）

◎平成 39 年度目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 28 年度)	目 標 値 (平成 39 年度)
週 1 日 以 上 の ス ポ ー ツ 実 施 率	46.9%	65%
ス ポ ー ツ を 全 く 実 施 し な か っ た 者 の 割 合	24.3%	0%
※ ウ ォ ー キ ン グ イ ベ ン ト の 開 催	7 回	14 回
三 重 町 さ く ら ロ ー ド レ ー ス 大 会 参 加 者 数	273 人	450 人
お が た 五 千 石 マ ラ ソ ン 大 会 参 加 者 数	567 人	1,300 人
千 歳 ひ ょ う た ん 健 康 マ ラ ソ ン 大 会 参 加 者 数	347 人	500 人

②健康寿命向上の取り組み

- 要介護状態となる原因疾患である「認知症」や「生活習慣病」予防に取り組めます。
- 高齢者を対象としたウォーキングや軽スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会を提供します。足腰の強化を図ることで骨粗鬆症・転倒による骨折などを予防します。
- 高齢者が気軽に集まり楽しめるサロン等で、運動を取り入れた健康づくり生きがいがづくりにつながるよう関係機関と連携し取り組めます。
- 減塩や肥満予防に対して食事指導を行う保健師や栄養士と連携し、食生活の改善に取り組めます。

◎平成 35 年お達者年齢目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 25 年)	目 標 値 (平成 35 年)
男 性 (順 位)	78.64 歳 (第 7 位)	(第 5 位以内)
女 性 (順 位)	83.56 歳 (第 11 位)	(第 5 位以内)

③障がい者スポーツ活動の推進

- 障がい者や障がい者団体などが行うスポーツ活動を支援し、スポーツ参加を促し、社会参加への促進に努めます。障がい者のスポーツ大会におけるボランティアの確保等について、関係機関と連携し支援を行います。
- 施設整備を行う際には、バリアフリー化等を行い、障がいのある方の利用に適した整備に努めます。

④スポーツを通じた女性の活躍促進

- 女性の幼少期から高齢期を通じ、ニーズや意欲に合ったスポーツ機会の提供に努め、軽スポーツイベントの開催等スポーツ実施率向上を目指します。
- 更衣室や授乳室を整備する等、利用しやすい環境づくりに努めます。

(2) 学校等における体育・スポーツ活動の充実

園児や児童、生徒が運動やスポーツに親しむ機会を充実します。

①学校体育授業の充実

- 運動の日常化・習慣化を図り、健康増進や体力向上に取り組みます。
- 大分県スポーツ交流事業を活用し、プロスポーツチームの選手・コーチが学校を訪問することでスポーツの楽しさを伝える授業を行います。
運動することの好きな児童生徒の割合を高めます。
- 体育施設や用具、遊具の点検を行い、安全管理の徹底を図ります。

②部活動の推進

- 心身の健全な成長を目的とする部活動を推進します。
- 部活動の充実と安全確保のため、地域のスポーツ指導者等を活用した指導協力体制の充実を図ります。
- 国が示した部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ環境の一体的な整備に向け、児童生徒への運動機会の保障や地域連携型部活動の推進を図ります。

③食育の推進

- 体力向上のための食育を推進します。学校授業において食に関する正しい知識を培うため食育の学習機会の充実を行います。

④学校施設の利活用

- 地域スポーツ・レクリエーションの拠点として学校施設を可能な限り開放するよう関係機関へ働きかけを行い、休日、夜間での有効利用を促進します。

(3) スポーツ団体の組織強化

スポーツ団体と連携を取りながら、地域の実情に応じた生涯スポーツ活動を推進します。

①総合型地域スポーツクラブの育成

- 地域で暮らす住民の生きがいづくりや健康水準の改善、コミュニティの形成及び活性化のため、育成支援に取り組みます。
- スポーツニーズの把握に努め、地域に根付いたクラブとして取り組みができるように支援を行います。

- 会員数を増やすことで安定した運営ができるように自立に向けた活動を推進します。

◎平成 39 年度目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 28 年度)	目 標 値 (平成 39 年度)
スポーツクラブ会員数	843 人	1,000 人

②地区スポーツ振興会の活性化

- 市民の健康づくりや体力づくりを目的に誰もが身近に参加できるスポーツイベントを開催します。
- 各地区スポーツ振興会が、相互に連携・協力し、イベント内容の充実を図り、市民のニーズに対応したイベント開催を目指します。

③スポーツ推進委員の活用

- スポーツ推進委員によるスポーツ・レクリエーション活動の推進、その指導による生涯スポーツの普及を図ります。
- スポーツ推進委員が実技指導や助言だけでなく、スポーツイベントの企画、立案、運営に携われるようにします。

④スポーツリーダーの育成

- 研修会や講習会を開催することにより、スポーツリーダーを育成します。
- スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者などの量的資質、技量的資質の向上のため、研修会を開催します。

(4) スポーツ施設の利用促進

①広報活動

- 市報やホームページなどを通じて、スポーツ施設の情報提供を行い、広く市内外から施設の利用を促進します。
- 誰もが手軽にスポーツ施設を利用できるように「体育施設予約システム」を導入しており、利便性の向上が図られていることから今後もシステム利用の促進を行います。
- スポーツに親しむ機会の提供のため、本市広報媒体を通じて市民へスポーツに関する情報やスポーツイベント情報を広く提供します。

◎平成 39 年度目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 28 年度)	目 標 値 (平成 39 年度)
スポーツ施設の利用者数	367,201 人	380,000 人

②スポーツツーリズムの推進

- 各種競技に対応したスポーツ施設があり、スポーツを通じた観光の活性化を図るため、スポーツツーリズムを推進します。
- 各種競技大会や合宿が可能な施設を整備し、用具等の充実を図ります。
- 民間企業や関係団体と連携し、県内外の大学や高校等のスポーツ合宿や大会などを誘致し、スポーツイベントの開催による交流人口の増加を図るとともに地域経済への波及効果を図ります。
- 関係機関と連携してスポーツ施設や宿泊施設など情報提供を行います。

◎平成 39 年度目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 28 年度)	目 標 値 (平成 39 年度)
スポーツ合宿者数	2,136 人	3,000 人
スポーツ合宿団体	73 団体	100 団体



▲大学サッカーチームによる練習
(サン・スポーツランドみえ多目的グラウンド)

3. スポーツ施設の整備

＜現状と課題＞

- 本市全てのスポーツ施設は、建設から20年以上経過しており、老朽化による修繕や改修を必要とする施設が増加しています。利用者の安全面と改修工事費用等財政状況等を考慮し、老朽化施設の整備と施設の統廃合を含めた見直しを行う必要があります。
- スポーツ施設が、地域のスポーツ振興や市民の健康づくり、スポーツを通じたまちづくりの拠点として役割を果たすには、安全かつ快適にスポーツ活動を行えるよう施設を充実するとともに、市内外からのスポーツ施設利用を促進し、利用者の増加を図る必要があります。
- 健康志向の高まりから気軽にできるスポーツとしてウォーキングが注目されています、アンケート調査結果によると「1年間に行った回数の多いスポーツ」として、「ウォーキング」が最も多く選ばれています。
アンケート調査結果によると「改善・整備してほしい施設」として「ジョギングコース」と「トレーニングルーム」が多く挙げられています。
ウォーキングやジョギングについては、グラウンドや公園のほか道路や歩道で行われています。大原総合体育館内に設置されているトレーニングルームについては、専属のトレーナー（スタッフ）を配置しており、利用者数は平成25年度以降増加しています。
- スポーツ大会を開催するうえで駐車場の確保は大きな問題です。サン・スポーツランドみえ（テニスコート・多目的グラウンド）駐車場は駐車可能台数が少なく、大原総合体育館では剣道等大規模な大会時には周辺駐車場を含め足りない状況にあります。



▲改修中の大原総合体育館（玄関）

施 策 目 標

スポーツ施設の状態や利用実態、市民のニーズを踏まえ、計画的に改修や施設整備を行います。

基 本 施 策

(1) スポーツ施設の整備・充実

①スポーツ施設の整備

- 豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画により地域の将来の人口動向や施設利用の状況を見据えながら統廃合を含めた機能強化と施設配置の抜本的な見直しを前提に検討します。
- 市民のニーズや実情に合わせた整備を行います。
- 施設利用者の利便性を図るため駐車場の整備について検討を行います。

②スポーツ施設の充実

- 安全かつ楽しく運動が行えるように、ウォーキングやジョギングコースの設定・施設の充実を検討します。歩道整備や街路灯設置など必要性に応じて関係機関へ働きかけを行います。
- 基礎的な体力づくりから本格的な筋力づくりまで、幅広い市民を対象とするトレーニングの拠点として、運動器具の充実を図ります。
- 障がいのある方が、スポーツに親しむことができるよう施設のバリアフリー化に取り組みます。
- 地域経済の活性化を図るため、市外からの集客効果が期待できるスポーツツーリズムの振興に寄与するものとして、三重総合グラウンド周辺及び関連施設を『総合スポーツ施設』の拠点として機能強化を図ります。

③スポーツ事故の防止

- 施設や用具の安全点検と整備を行います。
- スポーツ活動の安全指導と安全管理の徹底、安全意識の高揚を図ります。
- スポーツ施設での事故等の緊急時におけるマニュアルを作成します。
- 各スポーツ施設に設置しているAED（自動体外式除細動器）の定期点検を行います。

4. 競技スポーツの振興

<現状と課題>

競技スポーツに打ち込む選手の姿は、市民に夢と感動を与えるなど、活力ある社会の形成に貢献しています。市体育協会には、現在27競技団体が加盟し、競技スポーツの普及と振興、競技力の向上に取り組んでいます。

しかしながら、本市の抱える問題である少子高齢化や若者の流出により、競技人口の減少や競技力の低下などに影響を与えていることは顕著であり、継続的な競技レベルを維持することが厳しくなっています。そのため、競技人口の拡大を図り、より一層の競技力向上を図る必要があります。

また、県民体育大会では実業団チームを持つ自治体が上位を占める競技が多いことから、全体的な競技力向上を図る必要があります。

◆県民体育大会の成績

年 度	平成 26 年度 (第 67 回)	平成 27 年度 (第 68 回)	平成 28 年度 (第 69 回)	平成 29 年度 (第 70 回)
参加者数	497 人	492 人	492 人	507 人
総合順位	第 11 位	第 11 位	第 9 位	第 11 位

※第70回県民体育大会（平成29年度）の競技別主な成績

優 勝・・・綱引き女子
 準優勝・・・軟式野球
 第3位・・・綱引総合、綱引混合
 なぎなた



▲綱引き男子チーム

◆県内一周大分合同駅伝競走大会の成績

年 度	平成 25 年度 (第 56 回)	平成 26 年度 (第 57 回)	平成 27 年度 (第 58 回)	平成 28 年度 (第 59 回)	平成 29 年度 (第 60 回)
総合順位	第 5 位	第 7 位	第 8 位	第 6 位	第 6 位

施策目標

組織的かつ計画的に選手を育成する体制の整備に努めます。

基本施策

(1) 関係機関や競技団体の活動支援と連携及び組織強化

○市スポーツ協会や市スポーツ少年団などの関係機関や競技団体の活動を支援し、競技力向上に向けての連携を深めるとともに、一体となって組織強化を図ります。

① 県民スポーツ大会及への活動支援及び組織強化

○市スポーツ協会及び競技団体と連携し、活動を支援します。

○各競技団体で大会を開催し、県民スポーツ大会に向けた組織強化に取り組みます。

○競技スポーツの向上を目指し優秀な選手を地元に残すため、企業誘致を含め関係機関と連携し企業等への働きかけに取り組みます。

◎平成 39 年度目標値

目標指標	現状値 (平成 28 年度)	目標値 (平成 39 年度)
大分県民スポーツ大会の総合成績	第 9 位	第 8 位以内

(2) スポーツ顕彰制度と補助制度の充実

○スポーツ顕彰制度と補助制度の充実を図ります。

○選手や指導者の競技意欲を喚起し、県代表として国体や全国大会等に出場する選手を多く輩出するため、スポーツ顕彰制度や補助制度の充実に努めます。

◎平成 39 年度目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 28 年度)	目 標 値 (平成 39 年度)
全 国 大 会 に 出 場 し た 競 技 団 体 数 (選 手 数)	19 団 体 (102 人)	30 団 体 (150 人)
九 州 大 会 に 出 場 し た 競 技 団 体 数 (選 手 数)	9 団 体 (83 人)	15 団 体 (120 人)

(3) スポーツ指導者の養成と確保

- スポーツ生理学を取り入れたトレーニングの導入など、スポーツ指導者研修会を開催し、選手の健康管理と技術力の向上を図ります。
- 県スポーツ協会や各種スポーツ団体が開催する研修会などへ関係者が参加できる体制づくりに取り組みます。
- 地域で活動できるスポーツ指導者等、人材の確保に努めます。



▲スポーツ少年団認定員講習会

(4) スポーツ少年団活動の推進

スポーツ少年団活動を推進するとともに、その育成を支援します。また、指導者の育成に努めます。

①育成支援

- ケーブルテレビなどを通じて各単位団の活動状況を紹介し、団員加入率の増加を図ります。
- 少年団登録を推進し、新規加入団を増やします。
- スポーツ事故などの防止を図るため、スポーツ外傷や障がい防止の育成講習会などへの参加を啓発します。
- 優秀な成績を残した個人、団体や功績のあった指導者等に対して表彰を行います。

②交流事業の実施

○スポーツ交流会を実施し単位団間の交流を深めます。

③指導者の育成

○指導者の育成と資質向上に努め、各種講習会や研修会への参加を啓発します。

◎平成 39 年度目標値

目 標 指 標	現 状 値 (平成 28 年度)	目 標 値 (平成 39 年度)
ス ポ ー ツ 少 年 団 加 入 率	39.1%	55%
ス ポ ー ツ 少 年 団 指 導 者 数	210 人	250 人
認 定 ス ポ ー ツ 指 導 者 数	134 人	180 人



▲スポーツ少年団交流（スポーツ玉入れ）大会

第4章 計画の実現に向けて

1. 計画の推進

(1) 推進体制

各種施策を総合的かつ効果的に進めるため、行政だけでなく市民や関係団体等がそれぞれ役割を果たしていくことが必要です。そのためには、市民（スポーツ推進委員等）・スポーツ団体・関係機関との連携を一層強化し、円滑な計画の推進に努めます。

○行政【事務局】
社会教育課
学校教育課
市民生活課
社会福祉課
高齢者福祉課
商工観光課
他関係課

=

連携

○市民
市スポーツ推進委員
○総合型地域スポーツクラブ
みえスポーツクラブ
おがたいいきいきスポーツクラブネスト
朝地フレンドクラブ
○市体育協会
○競技団体
○地区スポーツ振興会
○市スポーツ少年団
○教育機関
小学校
中学校
高等学校
専門学校等
○企業等

(2) 計画の評価

計画の進行状況については、施策の実施状況、数値目標の達成状況を把握し、5年後の35年度を目処に中間評価を行い施策・目標値の見直しを行います。